

高速網 建設産業の力結集

東海環状道 西回り開通、地域活性化へ



8月30日に開通した東海環状自動車道西回りルートの本巣インターチェンジ。地域活性化が期待される＝本巣市上保



千鳥(高山)産業高校。県は高校生にドローンを活用する機会を創出

高校生、ドローンを操縦

県が高山工業高で体験学習

県は、建設や土木の現場で作業効率化のためにドローンの導入を進めている。県立高山工業高等学校で、11月10日に高校生を対象にドローンの体験学習が行われた。県立高山工業高等学校は、建設や土木の現場で作業効率化のためにドローンの導入を進めている。県立高山工業高等学校は、建設や土木の現場で作業効率化のためにドローンの導入を進めている。県立高山工業高等学校は、建設や土木の現場で作業効率化のためにドローンの導入を進めている。

魅力ある建設産業へ

県技術検査課では、2022年よりInstagramの公式アカウントを開設し、建設産業の魅力発信を目的に、建設産業への入職を目指す人の就職活動に役立つ情報を提供している。その内容は、労働環境の改善や人材育成などに積極的な建設業者や関連業者を「ぎふ建設人材育成リーディング企業」に認定し、取り組みや職場の様子を紹介するほか、業界の魅力をアニメーション動画にして投稿している。

また、8月から10月にかけて、道路や橋、ダム

県技術検査課 Instagram活用加速

写真・動画でアピール

など県内の土木構造物や土木の工事現場などを撮影した写真や動画を募集する「ぎふの土木フォト＆動画コンテスト」を実施した。受賞作品は、今月中にInstagramで発表される予定。さらに、建設業のイメージアップを図るため、お洒落で格好の良いユニフォームの写真の募集を行った。投稿された写真は、Instagramのハイクラスのほか、県下最大規模の合同企業展「オール岐阜・企業フェス」に出展する「ぎふ建設人材育成・確保連携協議会」のブースでも紹介される予定だ。



岐阜大客員教授

加藤義人氏に聞く

観光・物流の新動線／メンテ強化が鍵



線地帯にも、同様の効果が期待される。沿線地域への企業誘致が実現すると、各自治体には固定資産税などの税収が増加する。人口減少が進む中、企業誘致は自治体の税収増を図る上で非常に重要な役割を果たしている。東海環状道が、各都市道路とつながることによって、中部エリア最大のボトルネックである一宮JCTを回避し、西日本から北陸へ向けるルートが生まれる。これは、同時に「一宮JCTを迂回せず沿線地域の観光地に行ける」とは、観光振興の一助になるはずだ。今後は物流を中心に、自動車運搬網を新たなモビリティの導入も進むことが予測される。交通量の増加があり、モビリティを制御しやすい高速道路を持つ地域は、有利だと考えられる。岐阜県は、建設産業の発展は、地域の中心に位置し、土地を安価で提供する重要な産業だといえる。

